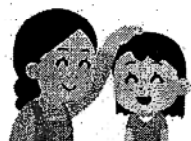




かわらばん

良城小 URL: <https://fa.fureai-cloud.jp/ryojo-e/>

良城小学校
学校だより10月号
児童数 761名
令和7年9月25日



地域の「褒める」「叱る」教育力に感謝

校長 宮崎 康生

子どもたちを取り巻く環境として、教育のプロである学校、教育の責任者である家庭、学校と家庭の応援団である地域、それぞれが教育力を高め、連携して子育てに当たることが大切だと言われています。本校でも、放課後子ども教室、図書ボランティア、ミシンや電動のこぎり等指導、総合的な時間の GT、ステップアップタイム、吉敷交流勉強会 (YKB) など校区の内外に広がる活動まで、さまざまな場面で子どもたちのために地域の教育力が発揮されています。これらは、子どもが喜ぶ活動を提供し、楽しませつつ、伸ばそうとする取組です。

一方で、地域の教育力にはもう一つ大切な場面があると思います。それは、「叱る」ことです。子どもたちは時として、危ないこと、迷惑をかけること、人を傷つけること、許し難いこと、礼儀に反することなどをついやってしまいます。その時に毅然として叱り、誤りに気付かせ、反省させ、行動を改善するように指導することが必要です。「叱る」という関わり方のハードルが高くなりそうですが、前記のような行動をして叱られた子どもは幸せです。なぜなら、叱られることで気付かなかったことに気付かせてもらえるのですから…。反対に叱られなかった子どもは不幸せです。なぜなら人としてよりよく成長するための機会を逃してしまったのですから…。

人から叱られるのは、人間誰しもうれしいものではありません。でも、叱られないと育たないこともあります。反対に叱ることでは育たない、叱られるべきではないことがあるのも確かです。

人間の尊さに関わること 世の中の道理に反すること

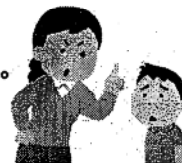
この2点に関わることに、もし反した時には、叱らなくてはならないはずです。反した人間は、叱られなくてはいいけません。人間の尊さを傷つけるのは失礼です。世の中の道理に反すると人に迷惑をかけます。子どもたちの人間としての進歩と向上のためには、叱られることも必要なことなのです。

個性に関わること 発達に関わること

この2点に関わることでは、叱られてはいけません。また、叱ってはいけません。一人ひとりがみな違うさまざまな個性の一つを掲げて生きているのですから…。発達の道筋も人によってみな違います。このことで叱られても答えようがありません。励まし、見守り、勇気づけ育てていくことが必要です。ただ、「叱る」と「怒る」「怒鳴る」は違います。「怒る」「怒鳴る」は、感情の爆発であり、悪意のぶっつけです。一方、「叱る」は、厳しいけれども冷静な行為であり、大切な説得のはずです。

子どもたちは失敗を繰り返して成長していきます。私たちもかつてそうだったはずです。子どもたちの将来を考えればやはり「叱る」ことを勇気をもって冷静にしていかななくてはいいけません。

以前、本校の子どもたち数人が道路で遊んで、近隣のお宅に石を投げ入れるという事例がありました。そのお宅の方は、子どもを呼び止め、やったことを明らかにし、学校や家庭にも知らせ、子どもたちに反省する機会を与えてくださいました。子どもたちは、行為を振り返り、親子で謝り、「おもしろいからついやってしまう」ことの重大さを自覚し、おかけした迷惑を深く反省することができました。楽しい活動を提供することとは異なり、「叱る」ことは、叱る側にとっても気の重いことです。あえて「叱って」くださる地域の方がいて、わが子の行動を受け止め、謝罪し、償ってくださる保護者の皆さまがおられる。ここにコミュニティ・スクールで大切な「共生・共有・協働」の理念が生きているのだと感じました。吉敷と共にある良城小学校がこの地域にあることの幸せを感じました。良城小の子どもたちの幸せのためにも、保護者、地域のみなさまのご理解とご協力をこれまで以上によろしくお願いいたします。



～ 全国学力・学習状況調査（6年）/確認問題（5年）の結果についてのお知らせ ～

4月18日（木）に6年生児童を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」、5年生児童を対象に実施された「確認問題」についてお知らせします。

本校は、国語・算数ともに、全国平均や県平均を上回る結果でした。しかしながら、それぞれの教科において課題と思われることもあります。全ての児童の学力向上に向けて、この結果について日々の教育活動、授業改善等を進めていきたいと考えています。

＜本校児童（5・6年生）の実態について＞ ○成果と●課題

国語	○話し言葉と書き言葉とのちがいに気づくことと読むこと。 ○文の中における主語と述語との関係をとらえること。	●「読むこと」について、人物像を具体的に想像すること。 ●「書くこと」について、目的や意図に応じて事実と感想、意見とを区別して書くこと。自分の考えが伝わるように表し方を工夫すること。
算数	○問題場面の数量の関係を捉え、式に表すこと。 ○計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて書くこと。 ○除数が小数である場合の除法の計算をすること。	●直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解すること。 ●速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係を考察する。 ●折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件にあてはまることを、言葉と数を用いて記述すること。
生活面	○国語・算数・理科の学習が好き。 ○いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。 ○自分と違う意見について考えるのは楽しい。	●朝食を毎日食べている。 ●友達関係に満足している。 ●困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。

＜今後の取組について＞

【国語】

◇書く力をつけるために、授業の中で、自分の考えをまとめて端的に書いたり、条件のある作文に取り組んだりする活動を計画的に実践する。

【算数】

◇図形領域では、積極的に具体物やICT教材を活用し、内容理解を深めさせる。

◇記述式の問題では、答えの条件を満たすことを目標に取り組ませる。

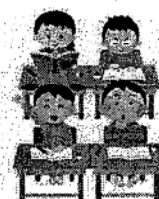
【その他】

◇「花丸タイム」（朝の学習の時間）を活用し、課題のある学習内容に取り組んでいく。

◇授業中の振り返り場面で、自分の学びを客観的に分析する時間を設定する。

◇図書の時間や読書タイム（朝）で読書をする時間を確保し、色々なジャンルの本に触れることで語彙を増やしていく。

全国学力・学習状況調査問題はこちら





良城小の窓から

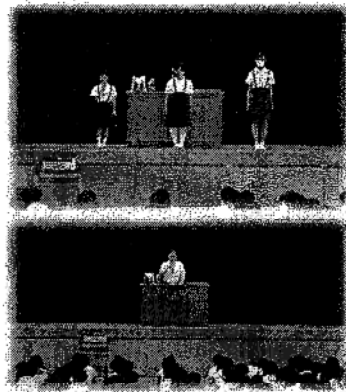
すがすがしい秋の空気が吉敷地域にも広がり、子どもたちもやる気いっぱいの面持ちで勉学に励んでいます。実りの秋、勉強に運動にみんなで力を合わせて頑張ります。

みんなで目標に向かって頑張る2学期に！始業式

9月1日(月)、44日間の夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。始業式では、3名の代表児童が、堂々とした態度で2学期にがんばりたいことなどを発表しました。

校長先生からは、「この夏休みに経験したことをもとに、みんなで目標に向かって頑張ってもらいたい」というお話がありました。また、生徒指導担当の先生からは、2学期の重点目標についてお話がありました。

2学期は、1年間のうちで一番長い学期になります。多くの学びと行事を成長の機会とし、心と身体をしっかりと鍛えることのできる学期にしたいと思います。



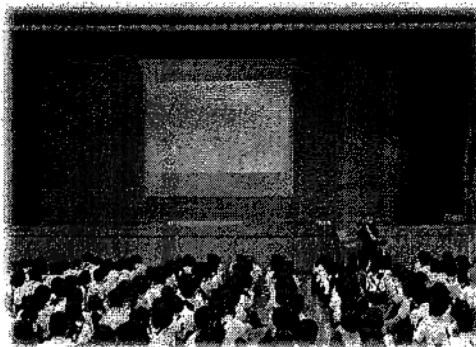
良城小合唱団 NHK 合唱コンクール中国大会「銅賞」、全日本合唱コンクール全国大会出場！

良城小学校合唱団が、8月5日(火)に山口市市民会館で開催された「第92回 NHK 全国学校音楽コンクール 山口県コンクール」に出場し、見事「金賞」を受賞し、9月7日(日)に広島県廿日市で開催された中国ブロック大会に十数年ぶりに出場し、見事「銅賞」を受賞しました。

また、8月10日(日)にシンフォニア岩国で開催された「第80回合唱コンクール山口県大会」に出場し、見事「金賞」「教育長賞」「朝日新聞理事長賞」を受賞し、11月9日(日)に静岡県浜松市で行われる全国大会への出場が決定しました。合唱団のさらなる活躍を応援していきたいと思います。



地域安全タイムで「防災」について全校で学びました！



3日(水)の5校時に今年度第2回目の地域安全タイムを行いました。今回は「防災の日」「防災週間」に合わせて、吉敷佐畑自主防災会本部の防災士である田中功夫さんから「地震」についてのお話を聞きました。田中さんは「自分の命は自分で守ること(自助)」が重要だと訴えられ、地震の際に周囲に気を付けることや取るべき姿勢(さる、かえる、だんごむし)、避難の仕方、心構えについて「釜石の奇跡」を例に話されました。

本校の教育目標にも「大切な心と体を自ら守る」という言葉があります。災害に限らず、様々な事柄から子ども達が自分を守るという意識をもてるよう多様な場面で指導していきます。

2年生「やまぐち畜産体験学習」

9月11日(木)に、2年生がやまぐち畜産ふれあい体験学習を行いました。この学習は、体験学習を通して畜産物及び畜産について学ぶとともに、子どもたちが講師と直接ふれあうことによって命を体感することを目的に行いました。子どもたちは、加工体験(フレッシュバターづくり)や搾乳体験を行ったり、直接子牛に触れたり、牛のえさや体のつくりについてお話を聞いたりしました。子どもたちにとって、自分たちのくらしが、多くの命に支えられていることを実感できる貴重な体験学習になりました。今後の子どもたちの学習や生活にしっかりと生かしていきたいと思います。





10月の行事予定



日	曜日	給食	校内行事
1	水	○	
2	木	○	6年修学旅行(1日目) ALT来校 集金振替日 4年高齢者疑似体験
3	金	○	6年修学旅行(2日目) 2年学年活動(5校時) ひなたすき活動(1校時)
4	土		
5	日		
6	月	○	あいさつの日 ステップアップタイム(6年) 5年チャレンジ学習(1日目) 教育相談週間(～23日)
7	火	○	5年チャレンジ学習(1日目) ひなたすき活動(1校時) ALT来校 SC来校
8	水	○	1年社会見学
9	木	○	ALT来校 委員会活動 ホタル放流の集い
10	金	○	学力定着状況確認問題(6年) 4年手話体験
11	土		「うちどく(家庭読書の日)」
12	日		「うちどく」
13	月		スポーツの日「うちどく」
14	火	○	なかよし班遊び(赤、青) ALT来校
15	水	○	第3回学校運営協議会 SC来校
16	木	○	なかよし班遊び(黄、ピンク) ALT来校 学力定着状況確認問題(5年)
17	金	○	
18	土		
19	日		
20	月	○	教育実習(～31日) クラブ活動
21	火	○	SC来校 ALT来校 市小学校陸上記録会(6年 後半の部)
22	水	○	鴻南中合唱コンクール鑑賞(6年)
23	木	○	ALT来校
24	金	○	ひなたすき校外学習(午前中)「うちどく」
25	土		「うちどく」
26	日		「うちどく」
27	月	○	校内音楽会リハーサル
28	火	○	校内音楽会
29	水	○	ALT来校
30	木	○	ALT来校
31	金	○	

通常の児童の下校時刻

		月	火	水	木	金
下校	1年		14:55		14:55	
	2年		14:55			14:35
	3年					
	4年			14:35	15:45	
	5年	15:45	15:45			15:25
	6年	(委・ク15:55)				

※留守家庭児童学級(もみじ)学級の下校時刻は17:00
ただし、10月6日(月)～2月14日(土)は16:40
※留守家庭児童学級(さくら)学級の下校時刻は17:00

通常と異なる児童の下校時刻

日	曜日	行事等	下校時刻	対象学年
3	金	6年生 修学旅行	16:00 (各バス停にて解散予定)	6年生
7	火	5年生 チャレンジ学習	15:30 (各バス停にて解散予定)	5年生
8	水	1年生 社会見学	14:40 ごろ (学校にて解散予定)	1年生
9	木	委員会活動	14:55 15:55	1～4年 5,6年
21	火	市陸上記録会	15:30 (現地解散予定)	6年生

PTA生活委員より

標準服銀行、実施します!



日時:10月28日()13時20分～15時10分
場所:良城小学校ピロティ(事務室前広場)

標準服、体操服のリユース活動を行っています。
不要となった服を出していただける方、また、必要な方は、自由に利用してください。また、フェイスタオル、使用済みインクカートリッジ(キャノン、エプソン、ブラザー純正品に限る)の回収、忘れ物の陳列も行います。

11月は良城ふれあいフェスタの為、標準服・タオル・カートリッジ回収・忘れ物陳列は行いません。次回は12月に実施します。

10月から帰宅時刻が変わります

秋が深まるにつれ、日暮れの時間も早くなってきました。10月1日(火)から子どもたちの帰宅時刻が午後5時になります。交通事故や不審者事案の対策として、午後5時には帰宅するよう指導をしています。かけがえのない子どもたちの命を守るため、ご家庭でも、繰り返しお声かけをよろしくお願いいたします。

